

上下線別に表示する。

(0) 駅扱い 列車集中制御から開放されたとき、停車場ごと、上下線別に表示する。

(1) 時素解錠 進路構成の際、時間鎖錠のかかっている時間中表示。

2 制御関係 列車進路の構成その他必要な制御は、列車集中制御盤により行なわれる。制御盤は中央制御所運転指令室に独立して設けられ、表示盤との間隔は5mである。新幹線においては制御範囲が長大となるため、制御盤は4分割され、その制御範囲は次のとおりである(図-2)。

- A台 東京・東京運転所・新横浜・小田原
  - B台 熱海・三島・静岡・浜松
  - C台 豊橋・名古屋・岐阜羽島
  - D台 米原・京都・大阪運転所・新大阪
- 制御盤上には次のこが設けられる。

- (1) 進路でこ 各停車場の進路を構成する。
- (2) \*自動でこ 各停車場の進路構成を自動扱いにする。
- (3) \*開放でこ C.T.C.扱いから駅扱いへの開放およびその逆の操作を行なう。
- (4) 列車番号修正 列車番号記憶数を修正する。

制御盤には上記のほか指令電話操作盤が組み込まれている。

3 符号の伝送系統とその内容 列車集中制御装置の回線構成は、図-3に示すとおりである。

現場から中央への表示符号の伝送回路は、被制御所(各駅)の継電連動装置・AF軌道回路送受信機などの条件(継電器のこう「扛」上あるいは落下)を、一定の順序で制御所と被制御所と同期をとってスキヤニングする方式である。継電器のこう上あるいは落下は、列車集中制御符号変換検出機(信号機器室に設備され、列車集中制御において伝送する符号の組成および解説をつかさどる。)によって直流符号に変換され、さらに列車集中

図-1 C.T.C表示盤(A区間の一部)

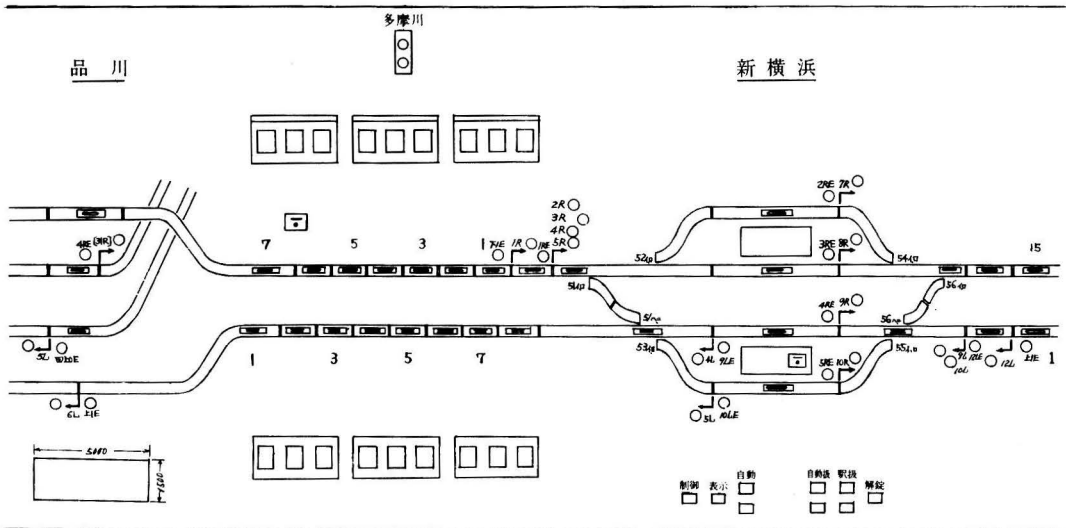


図-2 C.T.C制御盤(A台)

